

コロナ第7波

物価高騰

# 国の施策待たず、苦しみ続ける 市民のために市独自の直接支援を!

9月14日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議団を代表して森本真議員が議案質疑に立ちました。この度の補正予算案は新型コロナウイルス感染症対策として「引き続き、医療供給体制の安定的な確保を図っていく」とともに「コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する市民等の負担軽減を図る」ための予算としています。森本真議員は、市民のいのちを守るコロナ対策や物価高騰で苦しみ続ける市民の対策として直接応援する施策が無いとして、抜本的な拡充を求めました。

## 質疑項目

1. コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する市民等の負担軽減策について
2. 第7波の経験を踏まえた新型コロナウイルス感染防止対策の強化について
  - (1) 第7波の経験を踏まえたコロナ対策の強化について
  - (2) 発熱外来、診察できる体制を

## 森本議員が 議案質疑



## 神戸市独自の直接支援で 学校給食の無償化を

補正予算案では、子ども食堂などで食料品・生活支援情報を提供するNPO法人等への支援など、1000万円が計上されていますが、他都市がおこなっているような学校給食の値下げや無償化など、子育て

て世帯への直接支援を神戸市はおこなおうとしていません。森本議員は、子どもや食の支援を考えているなら、NPO任せにするのではなく、神戸市が直接支援の手をさしのべるべきと質しました。

間接支援なので、そこに行かないと支援が受けられない。文部科学省は、9月9日、急激な物価高騰を受け、全国で8割を超える(83%)の自治体で、地方創生臨時交付金等を活用して、学校給食費の保護者負担軽減に取り組んでいるとの調査結果を公表した。多くの子ども達をもつ保護者に対して生活支援をできるものだ。神戸市も学校給食の無償化こそ取り組むべきだ。

**今西副市長**：物価高や円高の影響や、企業の業種や規模によって異なり、それによって市民生活への影響の度合いも異なる。国は特に家計の影響が大きい低所得世帯への給付金を決定した。神戸市も国

の考えを踏まえ、すべての企業や市民を対象とした一律の給付、あるいは減免ではなく、極めて厳しい影響を受ける子育て世帯や生活困窮世帯に食料品の提供や生活支援をおこなうための予算を計上した。秋の臨時国会の二次補正予算編成を踏まえ、国の施策を補完する必要な支援策は検討していく。

**森本議員**：いま困っているのは非課税世帯だけではない。国の経済対策の額がまだ決まっていないので何もできないではなくて、他都市のように一般会計を使いながら、給食費の無償化や水道料金の減免など市民生活を助ける取り組みをおこなうべきだ。

## 答弁ダイジェスト

**小原副市長**：今般の原油価格・物価高騰によって日々の消費生活の中でいずれの世帯においても負担が増えている状況の中、子育て世帯への食支援(子ども食堂)の利用世帯数は、事業開始当初のひと月当たりのべ2000世帯から令和4年7月にはのべ3000世帯

と大幅に利用世帯数が増加している。今回9月補正予算において食料品、生活支援情報を提供するNPO法人等への支援を拡充する。

**森本議員**：物価高騰がすすむなか、電気・ガスと食料品など上がっているが、本当に困っている皆さんに支援が渡っているのか。子ども食堂は

ぜひご視聴ください

# 今井まさこ議員が 総括質疑に登壇します

**日時** 10月11日(火)13時30分頃から

**場所** 市議会本会議場

質問時間が前後することがありますので、時間に余裕をもってご覧下さい。

ご視聴は  
こちらから



# 医療体制を抜本強化し、 救急搬送出来ない事案をなくせ

コロナ第7波では、新規感染者で日本が世界最多となるなど、神戸市でも8月8日に一日あたり過去最高の4848名の感染者を更新し、現在の高止まり状況でも、9月7日現在、入院250名、宿泊療養200名、自宅療養1万1500名、療養先調整中2500名で、約1万5000名の市民がコロナと闘っています。死亡者の累計が1100名を越えるなど厳しい状

況が続いています。特に第7波では、発熱しても検査や診察が受けられないと多くの市民が悲痛な声をあげています。森本議員は「国は自宅等の療養期間を短縮する方針や感染者の全数把握の見直し・報告の簡略など、感染が爆発的に拡大するなかで対策をゆるめる方針を打ち出しているが、市民のいのちを守るためには、対策の強化こそ必要

だ」と指摘し、第7波の経験を踏まえたコロナ対策の強化

を求めました。

## 答弁ダイジェスト

**小原副市長**：第7波において自宅療養者で亡くなられた方は二人。健康観察の中で病状が急速に変化し亡くなった。今回救急がひっ迫してきたのは、医療体制・医療機関の数の問題と患者発生数とのバランスで、急激に患者数が増え、救急搬送の数も増えてひっ迫したと考えている。

**森本議員**：救急車を2回、3回と要請したにも関わらず、救急車に乗れず入院もで

きずに自宅で死亡確認されている。搬送要請522件、そのうち搬送者数257名、不搬送者数265名。実に半数以上が救急車を呼んでも搬送されなかった。しかも現場で30分以上滞在した行き場がなかった件数が150件。全体の3割近くもある。要請数が増えたから対応できなかったのではなく、搬送・診察ができるようにすることが、「医療供給体制の安定的確保」で大切ではないか。

# 発熱外来、往診など医師が直接 検査・診療できる体制づくりを

第7波では、発熱があり検査を受けるために発熱外来に電話をかけても電話がつかない、電話にでてもいっばいで受診できない、発熱外来の一部では試薬がないなどの状況が多数報告されています。その中で神戸市が出した方針は、コロナの疑いがある基礎疾患のない6歳から59歳

までの市民に対して、受診しないように告知をしました。森本議員は、本末転倒だと厳しく質し、発熱はコロナだけではないが疑われれば、安心して検査・受診できる体制をつくるべきだと追及しました。

## 答弁ダイジェスト

**森本議員**：調子の悪い方、病気になった方に対して、病院にこないでくださいなど、行政が告知した例は、過去にない。いつでもどこでも誰でも、皆保険で病院にかかれるのが、日本の医療制度の良い点だ。日曜祝日にも対応できる発熱外来を、医師会などと協力して作るべきだ。

**小原副市長**：発熱外来の体制強化は、引き続き働きかけをおこなっていくが、オンラ

イン確認センターで検査キットを送って陽性ができれば、医師が電話で診察判断する運営もおこなっている。

**森本議員**：検査キットもすぐに届かない。さらに救急車を呼んでも搬送出来ない事例が多く出される。救急車を呼んでも半数近くは搬送されず診療が受けられず自宅待機という事態だ。医師の往診など、安心してちゃんと受診してもらえるような体制をつくべきだ。

## オンライン 予算要望懇談会を開催します

日時 10月12日(水) 18時30分から

Zoomから  
ご参加  
ください

ミーティングID 889 0868 1891

パスコード 3225847



岸田政権は、新型コロナウイルス対応で無為無策を続け、また、非常に深刻な物価高騰への施策も従来の線上のもので、新しい本気の対策が一つもなく、消費税減税や賃上げのための中小企業への抜本的支援などの本格的対策がまったくありません。

こうしたときこそ、神戸市が、国の悪政の防波堤となって、市民の命、くらしと福祉を守らなければなりません。しかしこの間、まともな市民生活応援をしなかった結果、2021年度の神戸市決算の実質収支は、2020年度決算（3億円の黒字）を上回る、10億3700万円の黒字となっています。

にもかかわらず、久元市長は「コロナ禍からの景気回復によって税収などが増えた」などとして、都心・三宮の再整備や駅前の再開発、神戸空港国際化に合わせた大型開発に熱中。新型コロナウイルス感染症対策は、重症化リスクのある陽性者対策に縮小し、長期化するコロナ禍とともに、物価高騰で苦しむ市民のくらしや中小業者へのまともな対策を取ろうとしていません。

報告会では、住民運動や団体と力を合わせて命と暮らしを守るとりくみをすすめる日本共産党神戸市会議員団の議会内外の活動を報告するとともに、王子公園・動物園再整備や学校給食など運動に取り組んでいる方々の報告も予定しています。



▲9月17日、王子公園・動物園の充実を求める第2弾署名リスタート集会



▲9月5日、統一協会問題で申し入れをする市議員

# 大学誘致ではなく王子公園・動物園の充実を

9月22日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市議団の味口としゆき議員が登壇し代表質疑をおこないました。味口議員は、コロナ・物価高対策、大学誘致ありきの王子公

園再整備の撤回や、統一協会と政治の癒着の根絶、都心・駅前再開発による学校の過密問題、正規教職員の増と担任未配置の速やかな解消について、久元市長らの見解を質しました。

## 質疑項目

1. 王子公園・王子動物園再整備計画について
3. 政治と統一協会との癒着の是正について
2. コロナ禍、物価高騰等から暮らしと営業を守るための神戸市独自の支援策について
4. 正規教職員の抜本増と担任未配置問題について
5. 都心三宮・駅前再開発と学校の過密化について

9月に神戸市が出した王子公園再整備基本方針（修正素案）は、大学はいらないという市民の声は全く考慮されず、プール・相撲場の廃止、テニスコート・グラウンドを縮小する方針は変えず、大学誘致に固執するものとなっています。味口議員は「この計

画は、動物園を（他区に）移動させて大学誘致することから始まったが、移動できず大学誘致の想いだけが残った。市長のトップダウンで進める計画は撤回し、王子公園・動物園の充実を進めるべき」と質しました。

## 味口議員が代表質疑



設は移動させたり、工夫で済ませる。この姿勢は改めるべきだ。6月から2か月に渡っておこなわれた意見交換会は何のために開いたのか。

**油井副市長：**計画案に対するご理解・周知のためにやらせていただいた。

**味口議員：**「見直し」から「周知徹底のため」とすり替えているのではないか。見直しのために市民の意見を聞いている最中に、市長はなぜ「大学誘致は決してあきらめない」などと発言したのか。市民がいくら意見を出そうとも

変えられないではないか。これでは民主主義ではない。

**久元市長：**これ（大学誘致）は一貫した方針だ。賛成反対意見を自由に言えるのが民主主義だ。大学誘致にはメリットこそあれ、デメリットはない。

**味口議員：**大学誘致ありきで、プールが廃止、テニスコートなど一連のスポーツ施設が縮小、肝心の動物園は大きくならない。デメリットがないなどよく言えたものだ。パブリックコメントで市民の皆さんの意見をよく聞いて反映すべきだ。

## 答弁ダイジェスト

**味口議員：**市長は神戸登山研修所について「現状のまま残す」と関係者に言ったそうだが、結局は移転され、さらに動物福祉と言いながら、王子動物園の面積は広げられない。

**久元市長：**研修所は最初の段階では残すことにしていたが、施設を再配置することに

なったときに、今のまま残すことはできないので、新しい研修所を別のところに作ることにした。事実と違うことは言っていない。

**油井副市長：**動物園は現在の面積でも工夫をすればできる。

**味口議員：**現状のまま残すと約束しながら大学誘致が最優先にされ、市民の大切な施

## 王子公園再整備基本方針（修正素案）についてのパブリックコメントに

大学誘致反対

プール・テニスコート・メインスタジアム・サブグラウンド・相撲場・登山研修所等の廃止・縮小反対

動物園拡充 など

# 皆さん声を上げ、計画を撤回させましょう！

募集期間 9月27日(火)～10月26日(水)

王子公園再整備基本方針（修正素案）はこちらからご覧になれます



① 郵送による提出 10月26日消印有効  
〒650-8570（宛先住所記入不要）  
神戸市企画調整局未来都市推進課  
意見募集宛

② ファクシミリによる提出 (078) 322-6208

③ 電子メールによる提出 ojikoenhoshin@office.city.kobe.lg.jp  
件名には「意見募集」と記載いただき、コンピュータウイルスへの感染防止のため、添付ファイルは使用せず、メール本文テキスト形式で入力してください。

④ 持参による提出 神戸市企画調整局未来都市推進課  
市役所 1号館12階



国保滞納

統一協会

# 久元神戸市政のゆがみを 正面から追及！

教員・学校不足

久元市長は、食料品や光熱水費の高騰が幅広い市民の生活に影響を与えていると認めながら「国の政策を待つ」とし「一律の給付や減免は適切ではない」と、市民の暮らし応援に背を向けています。味口議員は、市民の暮らし、自営業者の営業を守るため、国民健康保険料（以下「国保

料」）や介護保険料の引き下げなど、神戸市独自の支援策を求めました。さらに、コロナ・物価高で生活が破綻し、自己破産した市民に対してまで、国保料の強引な取り立てがおこなわれていることを厳しく批判し、困っている市民にこそ寄り添うべきと質しました。

が見えるような支援をすべきだ。また、長引くコロナと物価高で自己破産した方に聞いた話では、滞納している130万円の国保料を4か月で返せと言われたそうだ。とても払えない額なので「上の人を出して」と言ったら「上はもっと取り立てる」と。全く実情を踏まえていないやり方が起こっているのは承知しているのか。

**小原副市長：**そのような事例は今初めて聞いた。

**味口議員：**6月に出された市税滞納整理方針では「最小の経費で最大の効果を上げる

ため比較的高額な案件を優先し、早期の差し押さえを中心とした整理を行う。滞納相談には応じるが、こちらから交渉を求める必要はない」と記載されている。改めるべきだ。

**今西副市長：**問答無用で相手の事情を考えずにやっていることは決してない。

**味口議員：**その方が自立できるように援助するのが本来の自治体の仕事だ。同時に、これだけ滞納者がいる背景には、国保料や介護保険料が高過ぎる問題がある。是正を強く求める。

## 答弁ダイジェスト

**小原副市長：**物価高騰等は、国の支援政策で対応するものだ。

**味口議員：**皆さんの実情を

考えると、高すぎる国保料、介護保険料を市独自で減免するなど、真剣な対策が必要だ。今苦しんでいる市民の皆さん、自営業者の皆さんに光

統一協会問題

## 神戸市・自民党との 深い癒着が明らかに

自民党の河南ただかず幹事長、岡田ゆうじ議員、松本しゅうじ議員のあっせんで統一協会関連団体へのイベント参加や、寄付・助成行為が明らかになりました。会見で市長は、議員の名を伏せ、関連団体に市長の名で感謝状まで渡しています。味口議員は、集会への行政の代表参加や感謝状などを通じて、統一協会が意図的に宣伝することで、新

たな被害者を生み出している」と指摘しました。あわせて、統一協会によって、行政が歪められている事例として、同性パートナーシップ制度導入への妨害があります。政令市で導入していないのは神戸市を含め3市だけです。味口議員は、統一協会に毅然とした対応を取り、パートナーシップ制度導入に踏み切るべきだとしました。

だ。

**小原副市長：**どこまで受け取るかという基準がなく、線引きが難しい。

**味口議員：**神戸市政政治倫理綱領では「市民から信託を受けた議員及び市長の責務を明らかにする」として「政治的又は道義的な批判を受けるおそれのある寄付を受けないこと」と基準は示されている。

**小原副市長：**今後は統一協会や関連団体からの寄付等にはお断りし、それ以外でも団体の状況確認等に努め、慎重かつ適正に対処する。

**味口議員：**議員がイベントに参加したり、発言したことを最大限に利用し、市民を安心させて被害を広げている。また、今回寄付をした関連団



体は、SDGsの推進を掲げているが、統一協会そのものは、SDGsとは真逆の組織だ。富山市では、統一協会の人が講師として呼ばれ、パートナーシップ制度はふさわしくないという学習会が開かれ、制度が成就しなかった実例がある。今こそきっぱりと団体と手を切り、制度導入の旗振りをすべきだ。

**久元市長：**統一協会の問題と全く違う質問だ。議会の論議も踏まえて検討したい。

## 答弁ダイジェスト

**味口議員：**なぜ感謝状のことを伏せたのか。どんな団体でも調べずに寄付を受け取る

のか。

**久元市長：**隠したということはない。寄付をもらえば感謝状を出すのは通例のこと

## 正規教職員不足のしわ寄せが 障がい児学級に

日本共産党神戸市会議員団は、少人数学級の前倒し実施を求め、正規教職員の抜本的増員を繰り返し求めてきましたが、教育委員会はこの願いに背を向けてきました。その結果、今年度は年度初めから18校で19人の担任の未配置があり、その後も未配置が広が

っています。児童・生徒への影響は大きく「特別支援学級で配置されていないことはあり得ない」などの声が寄せられています。味口議員は、正規教員を増やさず、非常勤教員で代替させるやり方は改めるべきと質しました。

## 答弁ダイジェスト

**長田教育長：**特別支援学級に影響があるという報告は受けていない。全国的な教員不足の影響が本市にも及んでいる。

**味口議員：**全国的な問題ではない。委員会で高田事務局長は「正規職員だけいきなり人数を増やすと、年齢構成がいびつになる」と答弁した。現場では正規雇用に背を向けているではないか。

**長田教育長：**私自身はそのような認識はない。今後の動向も踏まえながら、これまで以上に正規教員を確保していく。

**味口議員：**障がい者の子どもを泣かせるような学校現場の状況を変えていくため、積極的に正規教員を増やし、教育に予算を配分すべきだ。

**久元市長：**教育委員会とよく相談し、話を聞いて対応したい。

## 決算特別委員会審査から①

日本共産党神戸市議団は、9月5日におこなった久元市長への申し入れ（市議会だよりNo.313）で、統一協会及び関連団体から寄付、職員派遣、参加、祝電、後援会名義等、全市の部局及び外郭団体で、これまでの関係の有無について調査をし、全容を明らかにするように求めました。今回の問題では、神戸市で明らかになったのは、1年以内に出てきた案件ばかりであり、過去を振り返ると、国会議員や都道府県の各議員に多数の関係があったと言われており、市議団は神戸市として、本当に全く関わりなかったのか追求しています。森本議員が行財政局並びに市長室に対して、統一協会及び関連団体の認識、反社会的集団と認識し

9月26日

### 「命の水」を止めることは人権問題 水道局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

長引くコロナ禍の影響や、円安による異常な物価高の高騰などで、市民のくらしは大変厳しい状況に置かれています。その影響もあり、神戸市ではこの1年間で水道の給水停止を受けた世帯が4527件

- 質疑項目
1. 統一協会及び関連団体との関係について
  2. 区役所業務の民間委託について
  3. 職員定数と保健師、保育士等ケアワーカーの離職対策について
  4. 認知症神戸モデルの財源である超過課税について

ているのか質しました。

#### 答弁ダイジェスト

**増田市長室長：**旧統一協会について、現在も反社会的な行為をおこなっていたといった様々な報道がなされており、社会的に大きな批判を受けている団体であると認識している。

**森本議員：**そういう認識を持っている中で今後一切関係を持たないと断言すべきだ。

- 質疑項目
1. 基本料金の減額について
  2. 水道給水停止の中止について
  3. マンションの直接給水の推進について
  4. 自己水源の拡大と災害に備えについて

にもなっています。今井議員は、コロナの影響でパートの仕事が減り水道料金を支払うことができなかった母子家庭の女性が「給水停止で、朝子どもの顔を洗うために、仕方なくコンビニでペットボトルの水を買っている」と相談を受けたことを紹介。「命の水」を止めることは人権問題だ。給水停止はやめるべきだ」と求めました。

#### 答弁ダイジェスト

**今井議員：**給水停止を受けた4527件のうち、70歳以上の世帯は何世帯か。また

9月26日

### 統一協会問題

毅然とし、徹底した対応を行  
行財政局・市長室審査で森本議員



質問する森本真議員

**増田市長室長：**今後、旧統一協会およびその関連団体からのイベント等の出席、寄付の申し出等々はお断りする。

障がい者や子どものいる家庭は何世帯か。

**桑形副局長：**そういう分類での統計は取っていない。停水に至るのはやむなく公平性の観点からなので、必要であればやるが現状はできていない。

**今井議員：**水道局は命の水を預かっている部局だ。お金を払えない世帯の実態がつかめていないのは問題だ。行政の在り方が問われている。丁寧に話を聞き、実態をつかんでいただきたい。

#### お詫びと訂正

市議会だより315号の表面の今西副市長の答弁に誤りがありましたので、ここに訂正してお詫び申し上げます。

(誤) 今西副市長：物価高や円高の影響や…  
(正) 今西副市長：物価高や円安の影響や…

## 中学校でも学校調理室で作られたできたての給食を！ 新たな署名スタート

冷たい・不味いと不評だったデリバリー式の中学校給食。神戸市は「全員喫食制の温かい中学校給食」への転換を表明しましたが、大量調理施設から保温食缶で配送する「センター方式」で、スタートは早くても2025年まで見送られようとしています。

神戸の中学校給食を実現する会は、子どもたちにとって最善の「自校調理方式の実現」を求め、「学校給食の

無償化」や「地元食材や有機農産物を活用」の要求項目を追加した新署名をスタートさせました。12月末まで3万筆、来年3月末までに8万筆が目標です。

9月24日には、スタート集会を開催。日本共産党神戸市会議員団は「みなさんの運動で、給食の実現、内容の見直しが進んできました。自校調理の実現へみなさんと一緒にがんばります」と決意を語りました。

署名用紙は  
こちらから



9月27日

## 大学誘致ありきではない、市民のための再整備を！

### 企画調整局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

王子動物園・王子公園の再整備について

- 1. 王子公園再整備について
- 2. デジタルトランスフォーメーションについて
- 3. リノベーション神戸第2弾について

質疑項目

ては、神戸市がしめした廃止・縮小の当初案に対し、私たち神戸の宝を守れという様々な市民の運動が広がりました。その多数の声をうけて修正案がだされました。しかし、「大学の意義は大きいので、そこをわかりやすく整理した上で修正素案を提示している」と当局が言うように、大学誘致ありきの歪な中身で市民の賛同が得られる内容ではなく、新たな署名運動も広がっています。

### 答弁ダイジェスト

**山本議員：**反対の方が多い。賛成の意見でも様々な意見がある。そもそも王子

公園、王子動物園をより良くしようという話が発端だったと思うが、それが市長の考えによって、駅近に大学という話に変質しているように思う。一旦立ち止まるべきだ。

**武田副局長：**ご指摘の通り、王子動物園、王子公園を、よりよいものにとという考えで、一致している。修正素案について、ご意見を伺って事業を進めていきたいと考えています。

**山本議員：**一方的に意見を押し進めるのではなく、まずは大学を誘致撤回して、それから市民と共通の課題認識のもとに議論を進めるべきだ。

9月27日

## 新北文化センター

### 市民の皆さんの声に応え 快適に利用できる施設へ 文化スポーツ局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

**宮道副局長：**どれほど確保できるかはまだ決まっていない。

**朝倉議員：**利用者の皆さんの声をよく聞き、皆さんのニーズに応えた快適なセンターにすべきだ。

旧北区役所跡地は新北文化センターとして建て替えられ、その中にバリアフリーの新北図書館や体育施設、児童館などが併設されることとなります。市民意見募集では「体育施設の騒音や振動が発生する。図書館は別棟にしてほしい」「卓球などができる小さな部屋を多くしてほしい」などの意見が多数寄せられています。朝倉議員は「市民・利用者の皆さんから要望されている、ニーズに応えられるようなセンターにすべき」と求めました。

### 答弁ダイジェスト

**朝倉議員：**「工事設計業務企画書」で

- 1. 王子公園の運動施設拡充について
- 2. 自立性を保ち、市民ニーズに応えた図書館運営について
- 3. 新北文化センターの充実について

質疑項目

は「防音性・防振性の高い施設となるよう構造上の工夫を検討する」とあるが、万全となるのか。

**宮道副局長：**勤労会館など図書館と体育館が併設されている施設からは苦情は聞いていない。なお一層気をつけた上で快適にご利用いただけるようにしたい。

**朝倉議員：**勤労会館は階が分かれている。一層の努力ではなく、まだ具体的なことは決まっていないなら、関係部局にも伝えて計画すべきだ。また、計画では体育施設は広がるが、利用者の皆さんが望んでいるような小さな部屋も増えるのか。

9月28日

## 病床削減はやめ命を守る体制の強化を

### 健康局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は新型コロナ対策として、第7波以降は重症化リスクのある高齢者などを守ることに重点をおくため、6～59歳までの軽症者は自宅療養フォローアップセンターの体制を強化し対応するとしています。ところが現状では軽症と判断さ

- 1. 新型コロナ対策について
- 2. 済生会病院の移転統合について
- 3. コロナによる後遺症について
- 4. ワクチン接種による副反応について

質疑項目

れた方が急変し亡くられる事態がおこっています。90歳以上の2人の方は軽症扱いで、1人は3度救急要請をされたが3回目に救急隊員がかけつけたときにはすでに亡くなられていた、もう1人の方は保健センターにつながらず、保健所が入院調整をおこなっている最中に亡くなられています。西議員は「90歳以上の方は軽症でも重症化リスクが高い。今後第8波も想定し、今回を上回るような感染拡大が起こっても軽症の方も含め、市民の命を守る体制をつくるべき」と求めました。またコロナによって大きな負担を強いられている保健師の増員も求めました。

その他、済生会兵庫県病院と三田市民病院の問題では、150もの病床削減計画を追及しました。

### 答弁ダイジェスト

**西議員：**100万人に対しての死者数で見ると、大阪がダントツで724.5人、兵庫が2位で520.4人だ。北海道や東京よりもはるかに高い。この結果からみると神戸は高齢者施設でのクラスターが多く出ているのではないかと。

**山崎担当局長：**クラスターは沢山でているが、そのために死亡者が沢山でいるとは判断していない。関西は高齢者が多い中で死亡率が高くなっている。

**西議員：**亡くなっている方は高齢者が多い。そういう方が入院できないのは問題だ。コロナ病床をさらに確保することが必要だ。

## 決算特別委員会審査から②

こども家庭局は、自民党岡田ゆうじ議員の仲介で統一協会の関連団体である世界平和青年学生連合から寄付金を受け取っていました。さらに感謝状も出し、記者発表と記念撮影までおこなっていたことが明らかになりました。2017年から2021年までで430件の寄付があった中で、記者発表はわずか5件です。高額寄付等の他団体に並んで異例の厚遇です。大かわら議員は「議員の紹介だから忖度があったのではないか。市のホームページにアップしていることが団体の宣伝をしている。感謝状等の悪用で被害の拡大が懸念される」と指摘し、寄付金の返却と感謝状の返還を拒んでいる団体に対して、毅然とした対応をとるよう厳しく追及しました。

### 答弁ダイジェスト

森川副局長：決して隠ぺいや忖度はない。

9月29日

## 市民と地域を支える 交通政策に転換を！ 交通局審査で山本議員



質問する山本じゅんじ議員

神戸市交通局は公営交通として民間のバス事業者とはまた違う、安全安心の確保、サービスの提供だけではなく、住民

- 質疑項目
1. 統一協会問題について
  2. 公立保育所の正規保育士の増員について
  3. すこやか保育の体制強化について

大かわら議員：団体のホームページを少し見るだけでも統一協会とのかかわりが明確に記載されている。団体の調査自体も曖昧にしたのではないか。記者発表の文章では、この団体の教育プログラムを褒め称えているが、どのようなものか知っているのか。

森川副局長：調べたものを記録していないので答えられない。教育プログラムについて細かくは知らない。

大かわら議員：協会の信者が協会がいかに素晴らしいか、中高生を洗脳するプログラムだ。守るべき子どもたちが犠牲になっているのに、神戸市が評価し、お墨付きを与えている。

中山局長：団体の信頼性を高める結果になってしまったことは反省しなければいけない。今団体に寄付金の返却と感謝

- 質疑項目
1. データを活用したバス路線のあり方に関する基本的考え方について
  2. 経営状況について
  3. 市営地下鉄海岸線について

の福祉の向上に資するという役割があります。交通局はこれまで新自由主義的考えから経営の合理化を進めてきました。それによりバス路線の減便が進み、職員数も減り、結果的にサービスの低下を広げ、利用客が減り、経営悪化が進むという悪循環になっています。山本議員は「諸外国では地域公共交通への補助を赤字ではなく地域を支えるための支出(社会的便益)と考え、都市鉄道の運行費用の多くを行政で支えていると国交省も認

9月28日

## 『反社会的な活動団体』との関係 断ち毅然とした対応で市民守れ こども家庭局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

状の返還の申し入れをしている。こうした団体とは今後一切関わりがないよう努めていきたい。

大かわら議員：(統一協会の)2009年のコンプライアンス宣言以降も神戸でも被害が続いている。神戸市として、統一協会のような「反社会的な活動をしている団体」と一切の関係を断つということを、局として明確に発信すべきだ。

めている。神戸市もまちづくりに貢献するという観点で、一般会計からの繰入金だけではなく、経営安定化のアプローチの仕方をすべきだ」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

習田副局長：なかなか直接的な補助は難しいが、関連する例えばバスターミナルについて、一般会計負担でできる範囲とする、あるいは乗客増に資するよう各局とも話をしていきたい。

山本議員：まちづくりを考えて交通事業者だけではなく、あらゆる事業者、地域の商店、(福祉)サービス提供事業者など様々な意見を集めて、交通弱者をうまない策をすすめるべきだ。

ぜひご視聴ください

## 林まさひと議員が一般質問

日時 10月25日(火)13時30分頃から

場所 市議会本会議場 \*時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください



こちらから

### 委員会(予算・決算特別委員会)や議会の質疑時間について

日本共産党神戸市会議員団が発行しております「市議会だより」では、日本共産党神戸市会議員団の議会や委員会等の質疑の日時をお知らせしておりますが、質疑者や休憩時間などの都合により、お知らせしております質疑時間より最長1時間近く前後することがございます。ご了承ください。

傍聴やインターネット中継でご覧になる際は、時間に余裕をもってご覧いただき、より詳しい質疑時間は、質疑日の当日に日本共産党神戸市会議員団までお問い合わせください。

お問い合わせ ☎078-322-5847

9月29日

## 多様な社会のあり方を認めていくためにも パートナーシップ制度の導入を 福祉局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

自治体が同性カップルを認証する「パートナーシップ制度」はどんどん広がり、制度のある自治体に住む人は総人口の5割を超えるほどになりました。政令

神戸市で生活する市民の居住権や移動の自由を守るためには地域公共交通は重要です。これを保証し、提供していくのが本来地方自治体の仕事です。市議団は西北神地域の住民の重要な移動手段である神戸電鉄へ敬老パスを適用するよう市民の声をもとに求めてきました。その声に押され、苦肉の代替策として神鉄シーパスワンが始まりました。シーパスワンはこれまで多くの市民に利用されてきました。いま必要なのはさらに利用を促進するため、敬老パスを神戸電鉄へも広げることではないかと求める林議員に対し、

10月3日

## 通学路の安全対策は 早急に改善を 危機管理室・消防局審査で西議員



質問する西ただす議員

学校の通学路の危険箇所は、危機管理室が、教育委員会、建設局と協力しながら安全対策に取り組んでいます。ところが学校から毎年危険箇所の要望が出されても十分対応できていないのが現状です。西議員は、「東灘区の小学校でヒアリングした際、毎年3カ所ぐらい改善を

1. 介護職員の待遇改善について
2. パートナーシップ制度について
3. 認知症対策について
4. 国民健康保険の滞納対策について

質疑項目

市でも導入していないのは仙台市、名古屋市と神戸市の3市だけとなり、その名古屋市は要綱がすでにでき、意見募集を始めます。仙台市も審議会から導入すべきとの答申をうけ資料を集め現在検討を進めています。松本議員は「日本では法律で同性婚を認めていないから、自治体はできることとしてパートナーシップ制度を導入している。政令市最下位になる前に神戸市も導入すべき」と求めました。

### 答弁ダイジェスト

**松本議員：**憲法13条は「全ての国民は個人として尊重される」、14条は「法の下の平等」をうたっているが、パートナーシップ制度の導入はこの法律に基づけばすべきではないか。

1. 三宮再開発、2号館について
2. 西神中央駅前リノベーション事業について
3. 西区役所の利便性について
4. 狩場台や春日台の商業施設のリニューアルについて
5. 地域公共交通政策について
6. 新長田駅バスロータリーについて

——森本真議員

当局は「有識者会議などで鉄軌道に適應するのは現実的ではないといわれている。ICパスで高齢者の利用促進をめざす」と後ろ向きです。林議員は「名古屋市でこの2月から敬老パスを鉄道に適應して実施している。現実的でないという考えは乗り越え、実施すべき」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**白井部長：**敬老パスについては、関係

消防局

1. コロナなど過密労働問題とあわせた職員増について
2. コロナから職員と家族を守る対策について

危機管理室

1. 水害対応について
2. 通学路の安全対策について

質疑項目

求めているが、解決するのは1カ所程度と言われていた」と指摘。児童・生徒の安全を考えるなら、より多くの問題箇所を解決できるよう、通学路交通安全推進会議の場なども利用して早急に改善するよう求めました。

また消防局審査では、救急隊がコロナ禍の中、業務もひっ迫し、精神的な負担を抱えながら活動されているとして、救急隊を増隊してコロナ第8波に備えるよ

**森下局長：**国によって判断されるべきこと。憲法の定めとパートナーシップの導入について、直接定めたものでない、直接的には関係がないという認識だ。

**松本議員：**具体的に聞くが、女性同士、男性同士が市営住宅入りたい時、パートナーシップ制度がある自治体は認めているが、神戸市は入れない。週1回の相談を設けているだけでどう2人の気持ちに寄り添うのか。

**森下局長：**パートナーシップ制度がなければできないということではない。現実どうであるかという話と理屈上の話は別問題と考えている。

**松本議員：**札幌地裁では同性婚を認めるという判決まで出ているのに、なぜここまで嫌がるのか全く理解できない。多様な社会のあり方を認めていく上で避けて通れないと認識すべきだ。

9月30日

## 地域公共交通を強化し、 敬老パスをより良いものに！ 都市局審査で林議員



質問する林まさひと議員

部局の判断となるが、ご指摘のことについては各部局に伝える。

**林議員：**パスの利用で市場商店街の活性化にも繋がる、神戸電鉄の活性化のお立場からも努力すべきだ。

う求めました。

### 答弁ダイジェスト

**西議員：**何年か前、15カ所信号機を設置してほしいという要望があったが、1カ所しかできなかったと聞いた。信号機などは命や安全にかかわるもの、これも予算いっぱい進められないのか。

**筒井危機管理監：**様々な地域的な状況や交通、道路の状況など、総合的に判断された結果だと思う。

**西議員：**信号というのは必要だから求めているものだ。

消防局も危機管理室も住民の命・安全を守る観点から非常に大事な局。予算がないからできないというのは問題だ。必要なものを求めていくという強い姿勢で進めてほしい。



# 決算特別委員会審査から③

関西3空港懇談会では神戸空港の国内線発着枠の拡大、そして2030年には国際線就航を目指すことが合意されました。市長は本会議で、新たなターミナルなどの整備をおこない、2025年の大阪万博に間に合うように急ピッチで進めると表明しました。しかし、どの程度の規模と金額の事業になるのかなど具体的な内容が一切示されていません。大かわら議員は「整備ありきで具体的な内容を示されないのでは到底市民の納得が得られない」と指摘し、事業化は認められないと質しました。

- 質疑項目**
1. 神戸空港の国際線就航について
  2. 海上コンテナ車の山麓バイパスへの迂回について

## 答弁ダイジェスト

**大かわら議員：**空港本体と周辺整備を合わせるとかなりの事業費になるのではと危惧する。どの程度の市の負担を想定しているのか。

**長谷川局長：**市の責任で費用負担する考えに変わりない。事業費やスキームは調整中だ。

**大かわら議員：**神戸空港は関空と伊丹を補完する位置づけだ。裏付けのない需要予測で莫大な投資は危険だ。

**長谷川局長：**需要予測は、過去の予測と同様の手法だ。政府が示す最新の社会経済指標に基づいて予測されたものだ。

**大かわら議員：**過去も同じ手法であるなら、なおさら危険だ。開港当初の予測

9月30日

## 神戸空港国際化 過大な需要予測に基づく 莫大な投資やめよ 港湾局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

は達成できていない。空港整備にとどまらず、周辺整備なども次々に出されている。多額の負債を増やして市民生活に影響がでるようなことは決してあってはならない。

が困っている。間接的な支援では意味がない。加西市や加東市だけでなく福崎町などの小さな市でも、原油物価高騰支援策を直接市独自でおこなっている。なぜ市長に強く求めないのか。

**大畑局長：**我々も今すぐ全てが解決するとは考えていない。国県の施策を見ながら有効策を検討していく。

**味口議員：**神戸市が見るのは国県の動向ではない。街の事業者や市民の皆さんの実態を見るべきだ。

10月3日

## 物価高騰で苦しむ中小業者 への直接支援を今すぐ! 経済観光局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

神戸の経済の土台を支えてきた中小企業が、コロナ危機と物価高騰により、深刻な状況となっています。原材料価格の高騰や急激な円安進行を背景に10月から様々な商品、サービスの価格があがっています。しかし、経済観光局が打ち出した政策は、農業生産資材の高騰緊急対策

神戸市は、ここ数年、住宅ストックを活用し、若年夫婦や子育て世帯、住み替えを支援し、市内転入及び定住の促進施策として補助金をだしてきました。この制度には予算を超える多くの応募がありましたが、令和4年度は申請数が激減しました。これは当局が制度を見直し、予算を縮小させた結果です。「限られた財源の中で、持続可能な移住応援制度の趣旨を踏まえ、制度を再構築した」という当局に対し、林議員は「限りある財源と

- 質疑項目**
1. 統一協会問題について
  2. 原油・物価高騰に対する市独自支援について
  3. コロナ融資の信用保証料の補助について

支援のみとなっています。味口議員は、経済観光局として物価高騰で苦しむ中小業者への支援制度をつくり、全ての市内業者の営業とくらしをまもるべきと質しました。

## 答弁ダイジェスト

**瀬合副局長：**日本銀行の発表では、基調は持ち直しているが、原油原材料価格の高騰などで、一進一退という状況だ。

**味口議員：**そんな生易しい状況ではない。農業者だけではなく、全ての事業者

- 質疑項目**
1. 市営住宅マネジメント計画について
  2. 住まいに関する総合支援について
  3. 省エネ改修補助について
  4. アスベスト対策について
  5. 市営住宅の空き住戸について
- 森本真議員

すぐ言うが、三宮再開発を含めて、市街地には莫大なお金が投入されている。評判が良い補助金なら、さらに予算を上乗せすべき」と制度の拡充をもとめました。

10月4日

## 若年夫婦、子育て世代の補助金、 より魅力的な制度拡充を 建築住宅局審査で林議員



質問する林まさひと議員

10月4日

## 直ちに神鋼火力発電所の稼働停止を

環境局審査で今井議員



質問する今井まさこ議員

国連IPCCは気候変動をこれ以上悪化させないために大気中の温室効果ガスの排出を2050年までに2010年比ゼロにすることを求めています。神戸市でも2030年までに2013年度比で60%削減、2050年までにゼロを目標に掲げました。この目標

王子公園の再整備にともなって、王子動物園もリニューアルされるため再整備に向けた検討がはじまっています。松本議員は、単なる動物の展示でなく、飼育員が日々感じている動物の魅力や特徴をパネルにしたり、動物の飼育の苦労や魅力を発信する事で動物、飼育員、来園者が1つになってこそ動物園の活性化になる。そのためにも飼育員は非正規職員ではなく、正規雇用にして動物の研究や種の保存、環境教育など質の高い動物園に

10月5日

## 県トップダウンで進める 県立高校統廃合計画やめさせよ 教育委員会審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

兵庫県と県教育委員会は、2025年度に北区の神戸北、神戸甲北、西区の伊川谷、伊川谷北高校などの県立高校14校を6校に統合する教育計画を発表しました。保護者や生徒からは「選択肢が減る。統廃合後の場所や学力レベルがどう

1. 地球温暖化防止のための目標達成
2. 水素事業について
3. 神鋼石炭火力発電所について
4. ゴミの減量について

質疑項目

を達成するには企業や神戸市の努力と取り組みが大変重要になってきます。ところが昨年、神戸製鋼は最も多くCO<sub>2</sub>を排出する石炭火力発電所を市民の反対の声を無視して新たに2基増設、1基は既に稼働、もう1基も来年2月に稼働させようとしています。今井議員は「熱効率も悪く、世界でも建設中止、廃炉に向かっているのが石炭火力だ。直ちに神鋼に稼働中止を申し入れるべき」と質しました。

### 答弁ダイジェスト

**今井議員：**丸紅と関西電力が秋田市に建設予定だった石炭火力発電所は、丸紅が新規開発では資金回収ができないとして撤退する方針を掲げたため事実上建設断念に追い込まれている。Jパワーは山

1. 王子動物園の再整備について
2. インクルーシブ公園の充実を
3. 豪雨による土砂災害への対応について

していくよう求めました。

### 答弁ダイジェスト

**加古王子動物園長：**飼育員の雇用形態は、正規職員、再任用職員、会計年度職員、非正規職員の3つの雇用形態だ。飼育管理業務は現場では一体となっておこなっている。魅力ある動物園として持続的に運営していくためには当然人材確保重要だ。人材の育成や飼育技術の継承にも注力していくため、運営体制については検討していきたい。

**松本議員：**ぜひ検討してもらいたい。

1. 校則問題について
2. 県立高校の統廃合について

質疑項目

なるのか」など不安の声があがっています。神戸市は「県の動向を注視しつつ、県教委とも連携しながら情報提供をおこなう」としています。朝倉議員は「生徒や保護者から不安の声があがっている。統合はやめさせるべき」と求めました。

### 答弁ダイジェスト

**朝倉議員：**少子化と言うが、単なる数合わせだ。本当に行きたい所へ行けなくなる。子どもたちの学びの場が奪われることになるのではないかと。集約ではなく、少人数学級を高校まで広げる流れを

口県で建設中だったが「石炭火力への批判は国際的な流れであり、建設断念の判断ベースになった」と代表が語り、建設を断念している。神戸市も毅然とした態度で中止を申し入れるべきだ。

**浜本副局長：**一気に再生エネルギーで調達するのは不可能だ。いろんな技術も使いながらやっていかなければならない。国民の電気の安定供給も非常に大事だ。将来に向けてのカーボンニュートラルの取り組みを並行してしっかりやっていくことが重要。

**今井議員：**地球環境を変えていかないといけないということで、世界中が石炭火力発電所の撤退をどんどん表明している状況なのに、神戸製鋼が石炭火力にしがみついていること自身が本当に異様だ。直ちに稼働を停止するよう求める。

10月5日

## 質の高い動物園にしていく ためにも飼育員を正規職員に 建設局審査で松本議員



質問する松本のり子議員

今のこの劣悪な状況の中でも動物が生き生きと過ごせるように飼育員は努力している。前向きな気持ちを持って動物に接してもらうためにも、頑張っている人に一定の保障のある正規職員の門戸をぜひ開いてほしい。

神戸でつくり、子どもたちの教育環境を充実させるべきだ。

**山根学校教育部長：**確かに学校の数自体は減るが、子どもたちが行きたいと思える学校を県教委がつくっていくと理解している。

**朝倉議員：**地域住民や保護者にはまともに説明もされず、意見も求められず、県のトップダウンで進めようとしている。

**山根学校教育部長：**県教委がおこなったパブリックコメントで意見は聴取されている。

**朝倉議員：**市の教育長として地域住民の方々にも広く説明会等意見を聞く機会を早急に持ち、県に対しても、今の段階でこの唐突な計画はやめよと迫るべきだ。



福祉環境委員会で質疑する朝倉議員

# 朝倉えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP:<http://www.jcp-kobe.com/>

## 済生会兵庫県病院は今の場所で今のまま存続を！

### 三田市民病院との統合はやめよ！



今年6月2日には、神戸市久元市長、三田市森市長、済生会兵庫県病院長、三田市民病院長、4者がそろう記者会見が行われました。再編統合する新病院について、三田市は「設置者」、済生会兵庫県病院は「運営者」、神戸市は、北神地域の急性期を確保するための「財政支援」を行うことを発表しました。

### 「神戸市にあるのに『新三田市民病院!?!』」「三田市の財産に、神戸市民の税金投入!?!」 —市民から疑問続出

その際、統合される新病院の「土地確保」と、その「土地代」は、神戸市として支出することを決めたと久元市長は表明しました。三田市長は「(土地代の)負担は無い」と言います。つまり、三田市の財産になる土地の代金を神戸市民の税金で支払うこととなります。

### 今の済生会病院を遠い長尾町へ移転!?

予定地である長尾町宅原の農地は、持続可能な農業を続けるために多額の税金が投じられた土地で、地元からも「もっと別の土地にするべき」「農地をなくすな」の声が上がっています。

また、この地域は交通の便が悪く駅も近くにありません。「市民が通えないところに病院を作るな」の声が広がっています。

 <b>三田市</b>	再編統合新病院の <b>設置者</b>
 <b>済生会</b>	再編統合新病院の <b>運営者</b>
 <b>神戸市</b>	三田から社会福祉成人医療経済生活支那 兵庫経済生会への協定書 北神地域の急性期医療を確保するための <b>財政支援</b>

## コロナ危機から命を守る病院と行政が、病床削減

医療体制の脆弱さが、コロナ危機によって明らかになり、新型コロナや新たな感染症による脅威から、市民の命と健康を守ることこそ求められています。

ところが、済生会兵庫県病院は現在268床、三田市民病院は300床の病床数、合わせて568床の病床です。統合病院は400床~450床という経過で、大幅に削減する計画です。しかも、両病院は急性期を担う病院であり、この急性期病床の削減は命に直結する事態です。

済生会病院は「赤字だから建て替えもできない。10年後には急性期が担えない。だから、統合する」と言っていますが、赤字の責任を市民に押し付けるのは無責任ではないでしょうか？

済生会病院 268床 + 三田市民病院 300床

100床以上削減!

新三田市民病院?  
400~450床

## 住民説明会に多数の参加者

## 質問を打ち切る暴挙!



10月30日と11月3日に行われた済生会兵庫県病院と神戸市による「病院統合に向けた取り組みに関する説明会」には、多くの市民が参加され、次々と質問が出されました。両病院の統合再編について、住民の不安が募っています。

通院に「距離が遠くなる」「通えなくなる」「新病院の土地代をなぜ神戸市が支払うのかわからない」「病床数はどうなる?具体的に示してほしい」「アクセスはどうなるのか?」など、多くの質問が出ましたが、どの質問にも「今後検討していく」

「考えていく」などあいまいな回答に終始しました。さらに、多くの方が質問しようと手を上げる中、質問を打ち切ってしまいました。しかも、神戸市は「誠心誠意説明した」として今後の説明会は予定していません。これで、市民合意ができたと言えるのでしょうか?市民から、再度の説明会を求める声が多くあがっています。

長尾町では、11月12日13日と重ねて地元説明会が行われています。それならば、北神全体の説明会も再度行うべきです。

## ● 日本共産党神戸市議員団として、緊急申し入れ

神戸市と済生会病院の市民の声を聞こうとしない許しがたい態度があきらかになるなか、日本共産党神戸市議員団は、この対応に厳しく抗議し「両病院の統合を進める計画はやめて、市民や地域住民からの意見を丁寧に聞く」よう、神戸市市長に緊急の申し入れを行いました。市は「受け止め、回答したい。検討が必要」と答えました。



## ● 神戸市議会に提出された市民からの陳情採択を主張



市民集会で発言する朝倉議員

日本共産党神戸市議員団と朝倉議員は、統合問題が出てきた当初から、この問題を一貫して取り上げてきました。また住民のみなさんの運動と共同して頑張ってきました。議会では、これまでも市民からの「統合やめて」などの陳情採択を求めて論戦してきました。医療機能を後退させ住民の命を脅かす両病院の統合再編には反対です。病院を統合せずに、神戸市が現在の済生会病院への支援を強めることこそ求められます。さらに今後も「統合やめよ」の声をあげていきます。

### ● 市民の陳情に対する各会派の態度

件名	自民	公明	日本維新	共産	立憲	つなぐ	共創・国民	国民・友愛	無所属	結果
神戸市・済生会兵庫県病院・三田市民病院の三者協議の内容を市民に明らかにすることを求める陳情	×	×	×	○	×	○	×	×	-	不採択
済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合中止の働きかけを求める陳情	×	×	×	○	×	□	×	×	-	不採択
神戸市の責任で済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合について説明することを求める陳情	×	×	×	○	×	○	×	×	-	不採択
市民が通院できないところに済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合病院を建設しないことを求める陳情	×	×	×	○	×	○	×	×	-	不採択

○採択  
 ×不採択  
 □審査打切  
 - 常任委員会に委員がいない

市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。

料金別納  
郵便

新型コロナで困ったら

どんなことでもお気軽に  
ご相談ください

「困ったら日本共産党に  
相談するようにと友達か  
ら教えてもらった」

こんな電話をいただきました。今、暮らしも営業も大変で  
す。お困りごとは、どんなことでもご相談ください。

神戸市議員 **大かわら 鈴子**



9月28日 こども家庭局で質疑

自民党と統一協会の深い癒着は、神戸市でも次々と明らかになっています。

自民党議員の仲介で統一協会の行事参加、寄付、助成行為が明らかとなっています。こども家庭局は、統一協会の関連団体であるYSP(世界平和青年学生連合)からの寄付金を受け取り感謝状を渡していました。問題が発覚し、こども家庭局はあわてて感謝状の返還を求めています。大かわら議員は、「神戸市でも被害が出ており、感謝状が悪用されれば、新たな被害を広げる恐れがある。神戸市が広告塔になってはならない。」と厳しく追及。毅然とした対応をとり、きっぱりと関係を断つことを求めました。

## 学童保育の給食実現へ

**学** 童保育を利用されている保護者の皆さんから、夏休み中などに給食があればと以前から要望が上がっていました。

中学校給食の全員喫食開始のため、学校給食センターが整備されますがその際の付帯事業として「長期休業中(おもに夏休み)の学童保育(放課後児童クラブ)への配食サービス」が提案されました。こども家庭局は、日本共産党の質疑に対して「全市一度にはないが実現したい」と答弁しました。学校調理室も活用し早期実現を求めました。



## 神戸市独自の経済対策を

**コ** ロナ禍における原油価格・物価高騰により中小業者は深刻な状況に置かれています。しかし神戸市は「景気は上向きつつある」「国の動向を注視する」となったら対策をとろうとしていません。大かわら議員は「苦しむ中小業者の実態を見るべき。以前に神戸市が実施した家賃支援やチャレンジ支援金など直接支援が今こそ必要。国まちではなく早急に行うべき」と神戸市の独自支援を求めました。



## ごあいさつ

長引くコロナ禍と物価高騰で市民のくらしや中小業者の営業は大変な状況となっています。しかし神戸市は、市民の命と暮らしを守る責任を果たしていません。コロナ対応では、死者は過去最悪を更新する中で医療、保健所のひっ迫を理由に重症者以外の療養者の健康観察を中止。これでは本末転倒です。医療、保健所体制の強化こそするべきです。

市長は、光熱費、物価高騰の市民生活への影響を認めながらも「一律給付や減免は適切でない」と暮らし応援に背を向けています。しかし先日発表された神戸空港国際化では数百億円、都心・三宮、ウォーターフロント再整備では数千億円の大盤振る舞いです。地域で歯を食いしばって頑張る中小業者、市民の皆さんの声を聴こうともしていません。こんな市政、と一緒に必ず変えましょう。頑張ります。



10月24日  
本会議で決算反対討論する  
大かわら鈴子議員

POSTCARD

## 大かわら鈴子の 議会レポート

# みなさんと力を合わせて願い実現へ

## 大学誘致ではなく 王子公園・動物園の充実を

「王子公園・動物園を守って」の署名は、4万7000筆を超えています。この声に押され、神戸市は再整備計画を一定見直しました。しかし、市長は大学誘致に固執する態度を変えず、プール、相撲場の廃止、テニスコート、グラウンドの縮小等の方針はそのまま。市長は「大学誘致にデメリットはない」と強弁していますが、市民から出された意見の87%は大学誘致に反対です。自然豊かな

## 神戸空港

関西3空港懇談会では神戸空港の国内線発着枠の拡大、2030年には、国際線就航を目指すことを合意。久元市長は、新たなターミナル整備などを2025年の大阪万博に間に合うように進めると表明しています。今後は必ず景気が回復し、コロナなどの影響もなく航空需要が大きく伸びるなどバラ色の見通しが前提となっています。再び過大な需要予測で、周辺整備も含めれば数百億円規模の事業を進めようとしてい

### ■「各施設の見直しの方向性」を反映



原田の森を壊し、市民の大切な施設を奪う計画は撤回すべきです。

見直しを求めて新たな署名運動が始まっています。



9月30日 港湾局で質疑

ます。市長は「空港建設にも管理にも市税は一切使わない」と約束していたにもかかわらず拡張工事は建設ではないなどと詭弁を弄しています。「空港への市税投入はしない」との市会決議を反故にすることは絶対にあってはなりません。

# 学校給食の 無償化も

# 中学校も 学校の調理室で できたての給食を

## 中学校給食 を実現

2017年2月～全校実施

日本共産党神戸市会議員団は、神戸の中学校給食を実現する会（2011年6月結成）のみなさんと、保護者や市民から9万を超える署名を集め、議会のたびに実施を求め質問し、中学校給食の実現に力を尽くしました。

神戸の中学校給食は、長年「家庭弁当持参」で、神戸市議会も「愛情弁当がなくなると家庭崩壊が起こりうる。給食を制度化することは困難」（2003年・自民党岡島議員）「手づくりの弁当を持って来ている生徒をもっとふやしていく、そういう努力もしていかないといけない」（2011年・公明党大澤議員）と与党会派は消極的でしたが、給食実施を求める議会の論戦と、みなさんの声が行政をうごかし、中学校給食が実現しました。



テレビでも注目された、給食署名  
(サンテレビ2012年6月15日)

## 「全員喫食で 温かい給食」への 見直し決まる

2021年9月 教育委員会表明

実施後も、コスト最優先で民間工場から配送される「冷たい、美味しくない」デリバリー弁当方式について、日本共産党は見直しを粘り強く求めました。その時に、皆さんにも協力いただいた署名は、「(弁当方式をやめて)全員喫食のあたたかい中学校給食」への転換に結実しました。

駅前  
声を集め

議会で  
追及



直接交渉で、教育委員会に決断をもとめる議員団

## 自校調理、給食の無償化へ——さらに前へ 日本共産党は全力

給食に見直しにあたって、子どもたちや保護者のみなさんからは「地元産やオーガニック(有機農作物)など安全な食材を増やしたり、アレルギー対策に力をいれてほしい」「コロナ禍や物価高騰のいまこそ、学校給食を無償にしてほしい」「もっと給食の時間を増

やしてほしい」などたくさんのご要望が寄せられています。

日本共産党神戸市会議員団は、地元産や有機農産物を活かせる安全・安心な自校調理方式での実現、さらに学校給食の無償化へ、全力で頑張ります。

「学校給食の改善を求める署名」実施中! 裏面署名

神戸市長様  
神戸市教育長様

## 子どもの成長のために～中学校給食の改善を求める署名

神戸の中学校給食は長年「家庭弁当持参」でしたが、9万筆をこえた「中学校給食の実現を求める署名」など、多くの子育ての願いをうけて、市内すべての中学校給食が実施されています。ところが、小学校給食と違い、民間工場から配送する方式で実施したため、「冷たい・美味しくない」と不評で、利用率は30%台にとどまっています。

神戸市は市長選挙の直前の2021年9月、「全員喫食制の温かい中学校給食の早期実施」を表明しました。しかし、数か所の大量調理施設から保温食缶で配送する「センター方式」ですすすめられていて、大規模工事に時間がかかり、スタートは早くても2025年まで見送られようとしています。

一方、小学校の多くで実施されている「学校調理方式」は給食を適温で提供でき、衛生管理がしやすく、アレルギーや地産地消にあわせた独自のメニューにも対応できる柔軟性もっています。センター方式とくらべても栄養教諭をたくさん配置ができ学校ごとの食育の推進できる長所を持っています。

温かい中学校給食の早期実施にあたっては、学校の調理室で、作り手の顔が見え、温かくておいしく、栄養面と安全面が保証される自校調理や親子方式で実施してください。

学校給食は、子どもの食のセーフティネットです。憲法では、義務教育は無償とされています。食育という教育の一環である学校給食を無償にするようお願いいたします。

### 請願事項

- 1、地元食材や有機農産物を使用する、安全・安心な自校調理にしてください
- 2、調理室ができるまで、小学校から給食を配送してください（親子方式）
- 3、学校給食を無償にしてください

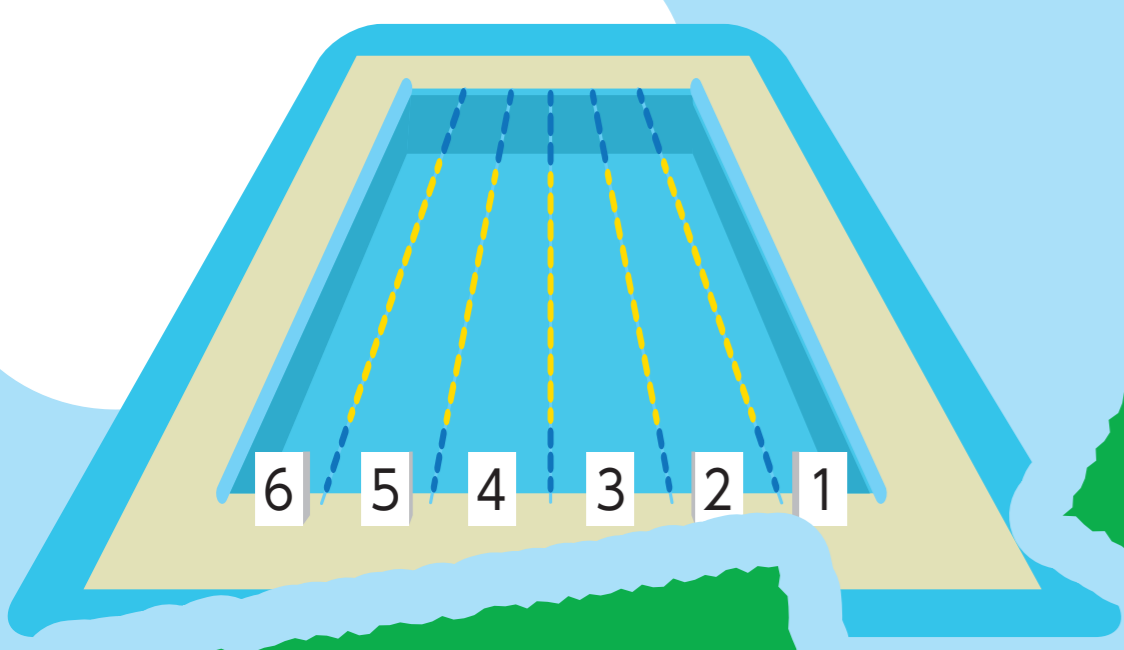
お名前	ご住所

## 神戸の中学校給食を実現する会

連絡先 新日本婦人の会兵庫県本部気付 中央区元町通6-5-15 TEL 078-361-4451

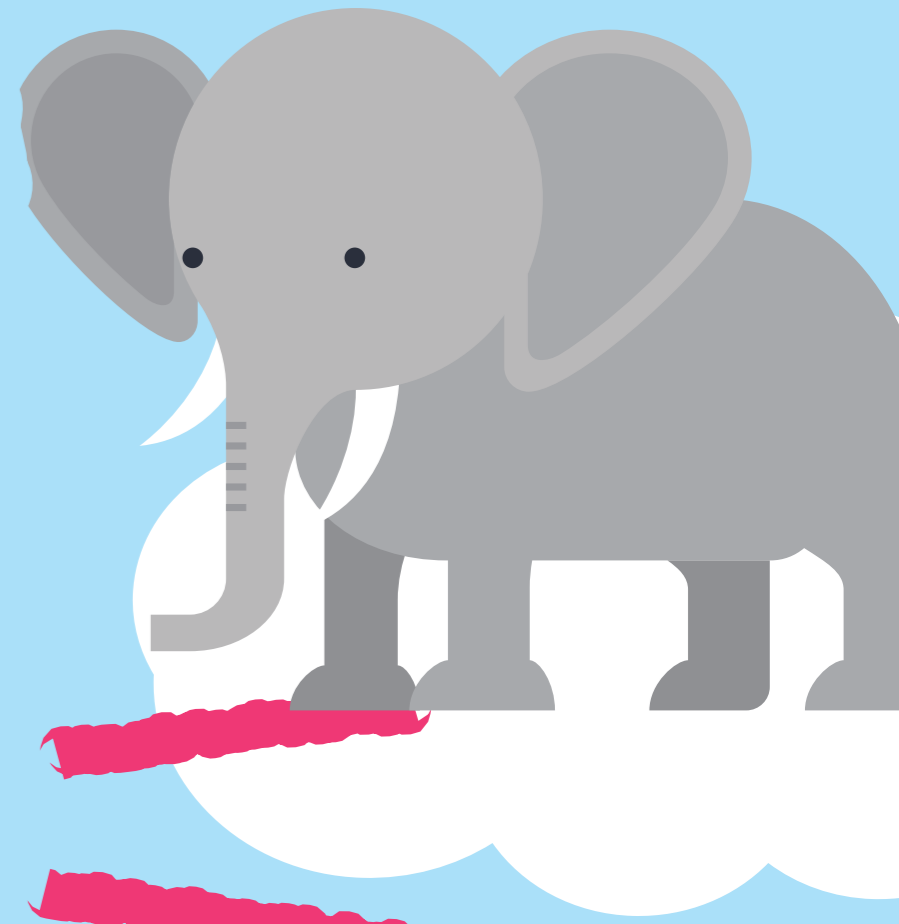
2022.9





# 王子公園 王子動物園

## をまもって



### 廃止・縮小

- プール ●テニスコート ●サブグラウンド
- 相撲場 ●登山研修所

## 大学誘致より 王子公園・動物園の 充実を

えっ？動物園は  
少しも大きく  
ならないの？

私たちが使っている  
施設をつぶして  
大学誘致って何なの!?

桜並木を  
なくさ  
ないで

グラウンドの騒音  
は大丈夫？

電子署名▶



発行 日本共産党神戸市会議員団

www.jcp-kobe.com 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 電話322-5847 FAX322-6165

中学校も  
学校の調理室で  
できたての給食を

学校給食の  
無償化を



● 「学校給食の改善を求める署名」実施中! ●

発行 日本共産党神戸市会議員団

www.jcp-kobe.com 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 電話322-5847 FAX322-6165

痴漢ゼロ  
DVゼロ

選択的  
夫婦別姓

同性パートナー  
シップ制度

いまこそ  
政治の  
責任で

ジェンダー  
平等の神戸へ